

平成 25 年 12 月 20 日  
独立行政法人 港湾空港技術研究所

フィリピン台風 Haiyan 災害に関する  
現地被害調査の報告会開催について

平成 25 年 11 月 8 日、台風 30 号 (Haiyan、フィリピン名 Yolanda) が引き起こした高潮によって、フィリピン中部では、犠牲者が 5 千名を超える大きな被害が発生しています。

国土交通省所管の独立行政法人港湾空港技術研究所は、フィリピン国運輸省 (Republic of the Philippines Department Of Transportation And Communications) の要請を受け、12 月 3 日(火)から 12 月 7 日(土)の期間で現地被害調査に派遣致しました。

この調査は、土木学会 (JSCE) とフィリピン土木学会 (PICE) 合同の JSCE-PICE 合同災害緊急調査の位置づけにもなっております。

この度、これら調査の報告会を下記の通り開催致しますのでお知らせします。

記

日時：平成 25 年 12 月 25 日 (水) 14 : 00—16 : 00

場所：主婦会館プラザエフ (四谷) クラルテ

次第：

- 1) 開会挨拶 土木学会会長 橋本鋼太郎
- 2) 調査団長報告 (調査の経緯・概要と調査地域全域の傾向) 東京大学教授 田島芳満
- 3) 各地域等の調査報告
  1. East Samar 東海岸南部 東京大学教授 田島芳満
  2. East Samar 東海岸北部 京都大学助教 安田誠宏
  3. San Pedro 湾口部 東京大学教授 田島芳満
  4. San Pedro 湾奥部 京都大学助教 安田誠宏
  5. 海岸構造物等の被災と避難 (独法) 港湾空港技術研究所上席研究官 有川太郎
- 4) まとめと今後の展望 東京大学教授 田島芳満
- 5) 質疑
- 6) 閉会挨拶 土木学会海岸工学委員会委員長 佐藤慎司

問い合わせ先

独立行政法人 港湾空港技術研究所

企画管理部 企画課

課長

福元 正武

(代表) 046-844-5010 (内線 5140)

(直通) 046-844-5040

アジア・太平洋沿岸防災研究センター

センター長 栗山 善昭

(代表) 046-844-5010 (内線 5200)

(直通) 046-844-5052